

令和3年5月10日

国立がん研究センター理事長 殿  
国立がん研究センター中央病院長 殿

国立がん研究センター中央病院  
医療安全外部監査委員会  
委員長 山本 修一

## 令和2年度第2回医療安全外部監査委員会 監査結果報告書

1. 日 時 : 令和3年2月19日(月)16時～18時 第1会議室

### 2. 監査委員

千葉大学（前千葉大学医学部附属病院長）	山本 修一	副学長
順天堂大学医学部附属順天堂医院医療安全推進部	川崎 志保理	部長補佐
さわやか法律事務所	田島 優子	弁護士
NPO法人パンキャンジャパン	眞島 喜幸	理事長(リモート参加)
国立がん研究センター	荒井 保明	理事長特任補佐

### 3. 監査結果

- 1) 事故調査制度、通報窓口の職員認知の調査方法について検討する。
- 2) ポケットマニュアルの評価について職員への調査を行う
- 3) ストレスチェック調査の高スコア被検職員数、個人面談実施職員数の提示 \*
- 4) 職員が絶対知っていなければならない項目がすぐに分かる工夫をポケットマニュアル編集において試みる
- 5) 放射線診断レポート、病理レポートにおける診療科の未開封件数の母数を次回示す。
- 6) 資料6 目標の7つ目 転倒転落の目標設定の再考（目標と対策の一致を考える）
- 7) 今後作成する資料における数値表記において、割合（パーセンテージ）だけではなく実数（分子/分母）を表記する。
- 8) 合併症による3カ月以内の再入院件数について診療科別表記の資料を次回準備
- 9) 医療機器安全管理委員会の結果を踏まえて保守、研修の実施状況について次回報告する。
- 10) 9) の報告形式は医療安全管理室の報告様式に合わせる
- 11) 造影剤アレルギー（造影剤副作用カードの結果も含めて）については、医療安全管理室の「基本方針・管理目標」の5番目の目標「アレルギー発生防止・アレルギー薬剤が投与されない」へ広義の意味を含めて対策をとることを検討する
- 12) 放射線技術部報告のアレルギー発症事案について病院としての検証を行う
- 13) 医療安全管理における中長期目標の検討

以上